

平成16年度 和歌山県文化功労賞

かし やま しげ き 櫛 山 茂 樹

住 所：和歌山県西牟婁郡上富田町

出 身 地：和歌山県西牟婁郡上富田町

生 年：大正7年

◎業績及び経歴

幼少時より父とともに生物学に親しむ。小学1年生の時に海辺の植物標本をつくり、中学1年生の時に父と親交のあった南方熊楠翁との出会いがきっかけとなり、キノコの採集等に没頭する。

昭和14年に和歌山県師範学校専攻科を卒業するとともに、日置小学校訓導となる。昭和52年まで県内小・中学校の教諭、教頭、校長を歴任する。その間、昭和23年、26年の両年に「紀伊蟲癭の研究」で文部省科学研究費を受領するなど、多数の研究発表をおこなってきた。

南方熊楠翁没後には、地元新聞の紙上において、1,000回以上にわたり、郷土の先覚熊楠翁の紹介文を執筆、掲載し続ける。氏のこうした活動が、後の南方熊楠記念館建設に大きな役割を果たすことになる。

昭和59年には、財団法人南方熊楠記念館の理事に就任、翌60年には常務理事に就任。同年より「南方熊楠友の会」を全国組織で結成し、「番所山通信」を発刊、熊楠翁の業績を県内外に広く発信する。

また、上富田町史編纂委員長や中辺路町誌編纂委員として、町史編纂にも携わっている。

現在、上富田町や中辺路町の文化財審議委員として文化財保護に尽力されている。

また、上富田町の熊楠翁ゆかりの田中神社裏手の「大賀ハス園」の開園にも尽力し、私宅棚田3,000㎡にも熊楠翁ゆかりの植物を集めている。

長年にわたり地道で幅広い郷土文化の研究や熊楠翁の顕彰に尽力してきた氏の功績は多大である。

■現在

(財)南方熊楠記念館常務理事
南方熊楠顕彰連絡協議会(田辺市)委員
熊楠フォーラム(守口市)参与
上富田町文化財審議委員
中辺路町文化財審議委員
和歌山県観光ガイド専門委員
将来世代国際財団京都フォーラム会員

■主な表彰歴等

昭和43年 上富田町文化功労感謝状
昭和63年 上富田町文化財功労表彰状
平成7年 勲五等瑞宝章(教育功労)
平成12年 南方熊楠記念館入館者100万人達成感謝状